

学校便り

七つの郷

令和5年12月22日

呉市立三坂地小学校

http://www.kure-city.jp/~miss/

く2学期が終わりました>

2学期が終わりました。そしてもうすぐ令和5年が終わります。2学期は、野外活動や修学旅行、 学習発表会、農作物収穫体験、町探検など、大きな行事がたくさんありました。子供達は行事を終 えるたびに力を付け、成長してきました。保護者の皆様には温かく見守ってくださりありがとうご ざいました。

3学期は1年間のまとめです。次の学年へ進学・進級するための準備を行う大切な学期です。子供達は、新年の目標をたて新しい気持ちで3学期をスタートします。引き続き、地域・保護者の皆様のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いします。

く広地区クリーン活動 小中一貫教育の取組>

12月6日(水)、「広地区クリーン活動」を行いました。中学生と小学生は、地域の方と共に担当する場所の清掃活動を行いました。今回は、塩焼第一公園が工事中のため、三坂地保育所を掃除場所に変更し、保小中と地域が連携した活動になりました。園児、児童、生徒、地域の方が同じ場所に集い一緒に活動するということはそうあることではありません。とてもよい機会をいただきました。

低学年児童は、中学生さんに興味津々で、積極的にコミュニケーションをとろうとしていました。地域の方には温かい声をたくさんかけていただきました。地域とのふれあいを通して、子供達は自分も地域の一員なんだという自覚をより一層深めることができたのではないでしょうか。掃除用具を準備してくださったり、子供達に優しく接してくださったりした地域の皆様、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。





〈子供にとって"お家"とはどのような場所ですか?〉

先日,ある職員が職員室でこんな話をしていました。「うちの子,発熱で昨日学校休んだけど, 熱が下がったので,『家は暇すぎるから学校行くわ。』と言って今日は登校しました(笑)。」

この家庭は、"お家"が、居心地のよい場所ではあるけれど、何でも好き勝手に自由にできる場所ではないようです。つまり家庭のルールや決まりがきちんと整えられており、"お家"が好き勝手できる快適すぎる場所ではないということです。または、学校生活への魅力を強く感じていて登校したいと思っているのかもしれません。

さて、子供にとって、"お家"はどのような場所となっているでしょうか。どのような役割を果たしているでしょうか。コロナ禍でお家時間が長くなり、デジタル機器等に触れる機会が多くなったのも事実ですが、毎日ゲームやりたい放題、スマホ等で動画見放題とはなっていないでしょうか。お家での過ごし方が自由で快適すぎると、家から出たくない、学校へ行きたくないという思いも湧き、場合によっては引きこもる行動を選択してしまうこともあるのではないでしょうか。

"お家"は子供にとって安心して過ごせる場所でなくてはいけませんが、自由で快適すぎる場所であるならば、そこは少し考える必要がありそうです。「家は暇すぎるから学校行くわ」という言葉は、学校から得るものと、"お家"で得られる「癒やし」と「安心感」を子供がバランスよくきちんと受け取っている証を示すような言葉だと感じました。

さあ,明日から冬休みです。家庭生活のルールやお手伝いなど今一度見直し,何事も「過ぎる」ことがなく,安全で楽しい冬休みが過ごせるようご協力よろしくお願いします。

